

2024. 2. 14

報道関係者 各位

立命館大学広報課 <配信枚数4枚>

令和5年度スポーツ庁委託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクト
「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」シンポジウム
『すべての女性アスリートにウェルビーイングの実現を-先端的支援の取り組み-』
日時：3月1日（金）15：30～17：30 形式：オンライン

立命館大学(京都府京都市、学長：仲谷善雄)、新潟医療福祉大学(新潟県新潟市、学長：西澤正豊)、日本体育大学(東京都世田谷区、学長：石井隆憲)は、スポーツ庁委託事業女性アスリートの育成・支援プロジェクト『女性アスリートの課題解決型実践プログラム』での取り組み状況と成果、また今後の課題や現場での実践について議論を深めるためのシンポジウムを、3月1日(金)オンラインにて開催します。

この間、トップ層やエリート層の女性アスリートや指導者に対する成果と知見の蓄積は目覚ましいものがあります。一方で、アスリート育成パスウェイ(子どもがスポーツに触れてからトップアスリートになるまでの道すじ)を見据えた場合の、ジュニア層や育成層に対する、さらには地域ごとの実践的な支援やその成果はまだまだ限定的であるという課題が浮き彫りとなっています。この課題を解決すべく、令和4年度よりスポーツ庁委託事業として、女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」が立ち上げられ、立命館大学、新潟医療福祉大学、日本体育大学の3大学が採択されました。

本シンポジウムでは、受託3大学に加え、「女性アスリート支援プログラム」に採択されている独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)をお招きし、この2か年の取り組み状況とその成果、そして今後の課題や現場での実践について議論を深めることを目的として開催します。

これまでそれぞれの団体が独自に取り組んできた先端的な取り組みと、各団体が協同して女性アスリートの育成・支援に関する情報発信、今後の支援拡大に繋がることを目指します。

記

日時：2024年3月1日(金)15:30～17:30 (受付開始 15:20～)

形式：オンライン(Zoom)

対象：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

申込方法：以下のウェビナーからご登録ください。【当日参加可能】

<https://ritsumeit-ac->

[jp.zoom.us/webinar/register/WN_mPzBRqx5SPKIEIs5ebc0Og#/registration](https://ritsumeit-ac-)

主催：立命館大学スポーツ健康科学総合研究所

共催：新潟医療福祉大学、日本体育大学

協力：ハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)、一般社団法人大学スポーツコンソーシアム KANSAI(KCAA)、一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)



プログラム ※敬称略

日時：2024年3月1日(金)15:30~17:30 (受付開始 15:20~)

形式：オンライン(後日アーカイブ配信あり)

- 開会挨拶 日比謙一郎(スポーツ庁 競技スポーツ課長)
- 企画者挨拶 伊坂忠夫 (スポーツ健康科学総合研究所長、立命館大学副学長)
- 基調講演 「女性アスリートが抱える健康問題」
能瀬さやか(ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センタースポーツ科学・研究部 スポーツクリニック婦人科医)
- 各大学事業の成果報告と今後の課題
 - ・ 新潟医療福祉大学 江玉睦明(リハビリテーション学部 教授)
 - ・ 日本体育大学 須永美歌子(児童スポーツ教育学部 教授)
 - ・ 立命館大学 杉山敬(総合科学技術研究機構 助教)
 - ・ ハイパフォーマンススポーツセンター 白井克佳(国立スポーツ科学センター スポーツ科学・研究部 副主任研究員)モデレーター：伊坂忠夫
- パネルディスカッション
- 閉会挨拶 伊坂忠夫

以上

本リリースの配布先：関西運動記者クラブ、草津市政記者クラブ、文部科学記者会

■内容について

- ・立命館大学 BKCリサーチオフィス 担当：森・高須
TEL. 077-561-2802 Email. spo-ins@st.ritsumei.ac.jp

■取材について

- ・立命館大学 広報課 担当：岡本
TEL. 075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumei.ac.jp
- ・新潟医療福祉大学 入試広報部 広報課 担当：小林、石津
TEL. 025-257-4459 Email. yuma-kobayashi@nuhw.ac.jp、shiori-ishizu@nuhw.ac.jp
- ・日本体育大学 広報課 担当：大海
TEL. 03-5706-0948 Email. koho@nittai.ac.jp

すべての 女性アスリートに ウェルビーイングの実現を — 先端的支援の取り組み —

スポーツ庁が委託する女性アスリートの育成・支援プロジェクトでは、トップ層やエリート層に対する成果は目覚ましい反面、ジュニア層や育成層への支援が限定的であるという課題が顕在化しています。この課題解決に取り組むために昨年度から「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」では、新潟医療福祉大学、日本体育大学、立命館大学の3大学が採択されました。本シンポジウムでは、「女性アスリート支援プログラム」を受託するハイパフォーマンススポーツセンターもお招きし、4団体による2か年の取り組み状況と成果、今後の課題について議論を深めます。



Zoom webinar

2024.3.1 LIVE

受付開始 15:20 ~

15:30-17:30

※インターネット接続ができるパソコン、タブレット、スマホ等をご用意のうえご参加ください
※事前登録をお願いします

参加無料

お申込みは
こちらから



主催 | 立命館大学スポーツ健康科学総合研究所
共催 | 新潟医療福祉大学、日本体育大学
協力 | ハイパフォーマンススポーツセンター (HPSC)
一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI (KCAA)
一般社団法人大学スポーツ協会 (UNIVAS)

<https://bit.ly/spo240301>

PROGRAM

15:30 開会挨拶 日比 謙一郎 (スポーツ庁 競技スポーツ課長)

15:35 企画者挨拶 伊坂忠夫 (立命館大学 副学長 / スポーツ健康科学総合研究所長)

15:40 「女性アスリートが抱える健康問題」

能瀬さやか (ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
スポーツ科学・研究部 スポーツクリニック婦人科医)

16:00 各大学事業の成果報告と今後の課題

江玉睦明 (新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授)

須永美歌子 (日本体育大学 児童スポーツ教育学部 教授)

杉山敬 (立命館大学 総合科学技術研究機構 助教)

白井克佳 (ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター スポーツ科学・研究部 副主任研究員)

モデレーター：伊坂忠夫

16:40 パネルディスカッション

パネリスト： 能瀬さやか
江玉睦明
須永美歌子
杉山敬
白井克佳

モデレーター：伊坂忠夫

Go for
your goal.

17:25 閉会挨拶 伊坂忠夫

主催 | 立命館大学スポーツ健康科学総合研究所

共催 | 新潟医療福祉大学、日本体育大学

協力 | ハイパフォーマンススポーツセンター (HPSC)、一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI (KCAA)
一般社団法人大学スポーツ協会 (UNIVAS)

お問い合わせ | 立命館大学 BKCリサーチオフィス 担当：森・高須 TEL：077-561-2802 E-mail：spo-ins@st.ritsumei.ac.jp